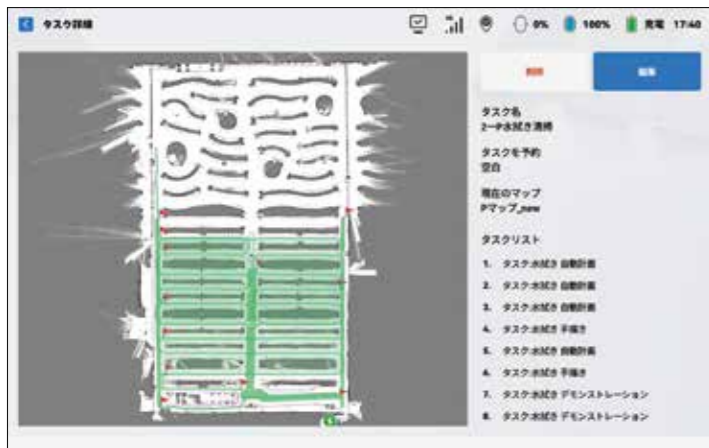
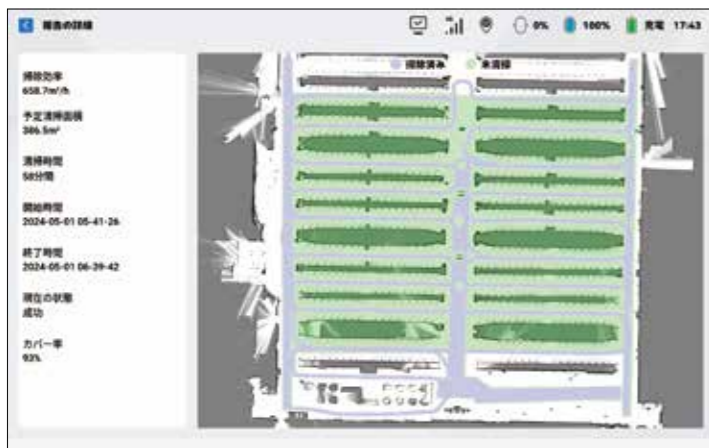


マルハン盛岡みたけ店の清掃MAP

※緑色が清掃場所



清掃計画(パチンコフロア)



清掃結果(パチンコフロア)

仮に店内の環境変化などによりロボットが止まっても、すぐに復旧される。経済的なメリットも大きい。ヒトが作業すれば2人で2時間作業したとして延べ4時間かかる作業を、「J40」が動くことで人件費は0円に抑えられる。仮に実質時給(※1)が1500円とすると、1ヵ月30日で18万円。それに対して「J40」を1台購入すれば5年間使用した場合に月あたり7万円が済む。その間に新たな機能が加わればOTAで最新の機能にアップデートされるので、いつでも新機種の性能を使用できる。

一方で、「J40」の優れた機能と経済性を理解できたとしても、ホールにおける清掃ロボットの役割として指摘されるのが、遊技椅子周辺の清掃だ。その課題点を解決する切り札として

椅子周りの問題解決へ 小型掃除ロボット「J20」

で見えてきている一方、ホールの現場からは身体への負担が大きいバキューム作業がなくなるなど、作業軽減に対する喜びの声も上がっている。これは金銭に代えがたい効果と言えそうだ。

遊技椅子周辺の清掃だ。その課題点を解決する切り札として

MMIが準備しているのが、写真の小型掃除ロボット「J20」だ。大きさは一般の家庭用掃除ロボットと同程度だが、内部は業務用の過酷な環境に対応している。MMIでは他メーカーの小型掃除ロボットを40台以上稼働させて現場でテストを繰り返したが、稼働率は30%程度だったという。「J20」の詳細な機能やスペックはまだ公表されていないが、現在のところ、家庭用のように充電ステーションから発進して充電ステーションに戻るのではなく、店内のどこにでも、床に置けば始動することが伝えられている。ホールでの運用に欠



mm international
株式会社 エムエムインターナショナル
東京都千代田区神田錦町1-21-1
ヒューリック神田橋ビル5階
TEL.03-3293-8686



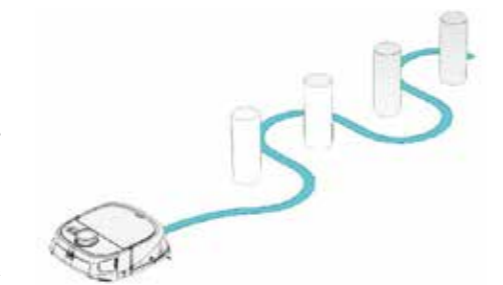
「J40」の詳細情報はこちら



パチンコ店での実演動画はこちら

続きはデジタルブックで
ご覧いただけます。

詳細はこちら



かせないこの機能は、「J40」と同様にOTAによる制御だからこそ実現した。もちろん「J20」が目指すのは稼働率100%。すでにパチンコホールでのフィールドテストが行われていて、今秋の販売運

通路の掃除を自動化する 清掃ロボット「J40」



MMIが昨年末に販売・運用を開始した「J40」は、中国の産業用ロボットメーカー、イージアへ社の開発にMMIが協力した清掃ロボット。大きな特徴は清掃中のロボットが「止まらない」ことだ。米国のEVメーカーで注目された「SDV」(Software Define Vehicle)と同様の考え方や技術を応用し、OTA(無線)によるアップデートの機能を清掃ロボットに搭載した点だ。「J40」は5月末までにマルハンをはじめとした全国のパチンコホール50店舗以

上で導入されて順調に稼働している。その結果、既存の業務用清掃ロボットでは実現できなかった「稼働率90%以上」を維持している。MMIが当初から想定していた経済性がしっかりと数字に現れ始めている。例えば、遊技機総台数1200台の大型店「マルハン盛岡みたけ店」。広大な店内はパチンコとパチスロで床の素材が異なる。パチンコフロアはセラミックタイルの床で、「J40」がバキュームと水拭きをするのに約1時間。パチスロフロアはカーペットの床なので、バキュームだけで約1時間。ロボットが止まることなく清掃して、その動きは24時間365日のサポートを行うMMIがクラウド上で遠隔管理。



イージアへ社(中国)との戦略パートナー契約の提携式に臨んだエムエムインターナショナルの橋本修一社長(右)

※1 実質時給=時給1000円+募集費+有給休暇+社会保険料等の合計。

エムエムインターナショナル 清掃全自動化時代が本格到来か!?

ホール用椅子下「業務用清掃ロボ」を今秋販売へ



遊技台の椅子下をくまなく掃除する
清掃ロボット「J20」